別記様式第４号（第２条関係）

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

様式調第４号

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

0401

２０１８年漁業センサス
内水面漁業調査
内水面漁業経営体調査票Ⅰ
（個人経営体用）

平成30年11月１日調査

	都府県（振興局）	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号						

市区町村名

漁業地域名

○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
○　記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。
○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　９８７６５４０

つなげる　すきまをあける

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○→●

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　11238

悪い例　○→✓　○

○　調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。

● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

チェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。

- □ 湖沼漁業（採捕）のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・２～６ページ
- □ 養殖業のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～３、７～９ページ
- □ 湖沼漁業と養殖業を行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・２～９ページ

0402

Ⅰ　世帯について

１　世帯員すべての人数
11月１日現在の世帯員の人数を記入してください。

（人）

		すべての世帯員	うち、満14歳以下の世帯員
男	701		
女	702		

４　漁業を行った人
満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間（平成29年11月１日～平成30年10月31日）に漁業を行った人をもれなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については、記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

①続柄番号
01：経営主
02：経営主の配偶者
03：子（満15歳以上）
04：子の配偶者
05：経営主の父母
06：経営主の配偶者の父母
07：兄弟姉妹
08：祖父母
09：孫（満15歳以上）
10：孫の配偶者
11：その他（上記以外）

	経営主との続柄	性別	出生の年月				
		男 女	該当する元号と出生の年月を記入				
	①	②	③				
	続柄番号を記入	いずれかにマーク	大正	昭和	平成	年	月
731	01	0 0	0	0	0		
732		0 0	0	0	0		
733		0 0	0	0	0		
734		0 0	0	0	0		
735		0 0	0	0	0		
736		0 0	0	0	0		
737		0 0	0	0	0		
738		0 0	0	0	0		

４ページ上部に記載された湖沼において、自家漁業（採捕または養殖）をしている方は、湖沼漁業欄を記入してください。
また、自家において内水面養殖をしている方は、養殖業欄を記入してください。

湖上作業：漁船の航行、漁ろう作業、定置網の網の張り立て、採貝・採藻、湖沼養殖にかかる作業等
陸上作業：真珠養殖の施術作業、貝のむき身作業、漁船・漁網等の修理、出荷、経理・計算事務等

養殖業の作業：給餌、選別、養殖池の管理、出荷、経理・計算事務等、養殖にかかるすべての作業

別記様式第５号（第２条関係）

入力方向

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
漁業構造統計

様式調第５号

２０１３年漁業センサス
内水面漁業調査
内水面漁業経営体調査票Ⅰ
（個人経営体用）

平成25年11月１日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

１　記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。　★○印は点線に沿って記入してください。

記入例　０１２３４５６７８９　　記入例　①

２　調査票の内容については、本年（平成25年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成24年11月１日から平成25年10月31日までの１年間について記入してください。

【統計調査員】	月　日（　）
氏　名：	午前・午後　　時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

《地域センター連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県（振興局）	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号	湖沼番号

市区町村名　　漁業地域名　　湖沼名

□ すべての方が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２及び３ページを記入してください →
□ 湖沼で漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は・・・４及び５ページを記入してください →
□ 湖沼又はその他の内水面において、養殖業を行った場合は・・・６及び７ページを記入してください →

入力方向

0402

Ⅰ　世帯について

１　世帯員すべての人数
11月１日現在の世帯員の人数を記入してください。

（人）

		すべての世帯員	うち、満14歳以下の世帯員
701	男		
702	女		

数字は、算用数字で１マスに１字ずつ右に詰めて記入してください。

２　世帯としての専業・兼業
（１）当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	自家漁業専業	兼業 自家漁業が主	兼業 他が主
711	①	②	③

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

兼業の場合は、過去１年間（平成24年11月１日～平成25年10月31日）の収入が多い方を「主」としてください。

４　漁業を行った人
満15歳以上の世帯員（平成10年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間に漁業を行った人をもれなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人です。

		① 経営主との続柄	② 平成25年11月１日現在の満年齢													③ 男女の別	
			15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	男	女
	続柄番号を記入	いずれかに○印														いずれかに○印	
731	漁業を行った人	01	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
732			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
733			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
734			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
735			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
736			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
737			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
738			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②

続柄番号
01：経営主
02：経営主の配偶者
03：子（満15歳以上）
04：子の配偶者
05：経営主の父母
06：経営主の配偶者の父母
07：兄弟姉妹
08：祖父母
09：孫（満15歳以上）
10：孫の配偶者
11：その他（上記以外）